

8月番組審議会議事録

開催年月日 令和5年8月18日（金曜日）
時間：19時30分から90分
場所 アリコベールしんぞ研修室
出席者 審議委員 7名（岡田委員長病欠 田口委員欠席）により出席者5名
小椋副委員長 角野 白井 渡邊 織田委員
放送事業者側出席 2名 村田理事長 藤田放送局長

議事

① 副委員長挨拶

15日の台風警報から災害対応としてよく言われる「災害は忘れた頃にやってくる」を再認識しました、エフエムつやまも災害対応放送を今後とも市民の安全への放送取り組みを強化してもらえよう審議検討してゆきますのでよろしく。

② エフエムつやま近況・活動報告（令和5年の活動） 村田理事長

7/22 Bz ものまねライブ 8/5 6 つやま納涼ごんご祭り

8月20日ラジオ講習 8/25 マルシェ放送体験 etc.

台風6号 7号の対応について報告

放送局からの運営報告・番組：取り組みなど紹介 藤田放送局長

7月25日から 雷で放送 STOP 回線新規に切り替え

7月29日修復など報告

③ 番組視聴からの放送へのご指導

④ その他

審議議事

放送番組など取り組み報告と番組試聴からのご意見を頂いた。

質問1： Bz ものまねライブショーの実況放送が聞き取りにくかった

（音がダブったり、途中で放送が STOP した） 白井委員

回答：実況移動用設備の設定不備とネットワーク機器の不安定動作と実況放送担当者のミスなど重なった為

対応：実況マニュアルの整備で再発防止を行います。ネットワーク機材の見直しをして（交換）安定化を図ります。 ※推進計画別途回答

質問2：情報番組を開始時間と尺の変更で局員の負担を減らすことは可能なのか

人員を増やす事は出来ないのか 角野・織田委員

回答：朝の放送は通勤時に聞かれていて大きく変更は難しい。今後の課題特に朝の放送が局としては多くの方に係っていただきたい（負荷分散）ワンマン放送（ミキサーコントロールしながら放送する）が局としての形態で誰でもすぐに情報番組（生放送）対応できない。

対 応：放送の開始時間・尺について課題として今後とも検討してゆく

法人内の人材のみでなく、外部に要員を求め強化を図ってゆきます。

※今年中に具体活動を行う。

質問3：メールの紹介をしながらでは紹介不可などないか 全て紹介しなくても良いのでは！

渡邊・臼井委員

回 答：メールは今まではすべて紹介してリスナーとのやり取りも番組のカラーづくりを行っている。楽しみにされている事もあり難しい

対 応：放送担当者との検討から放送の質を上げたい。 ※今期中に改善計画立案推進

質問4：緊急放送は効果あり、AI アナウンサーの情報も聞き取れた。本番にも利用可と判断するので津山市と調整の事。

織田委員他委員

回 答：緊急性のある場合に災害情報メールをそのまま利用して音源が制作できるので、早急に担当部署と打ち合わせしたい。

対 応：現在は有料ソフトで対応する。高専と連携してソフト開発もお願いする。

※高専との打ち合わせ今月中に

⑤ その他

答申及び公表について

本議事録を HP (<https://www.fm-tsuyama.jp/>) に掲載及び局内に掲示する。R5 年 8 月中

以上